

創立 80 周年記念新商品説明会

開催日：2019年7月3日、4日 / 本社
2019年7月18日 / 東京支店

『新加 ADDNEW FOR THE NEXT STAGE
“まだまだ80年「令和の幕開け」熱く粘り強く新
加するカンボウプラス”』をキャッチフレーズとし、本社186名、東京支店120名、合計306名と多数の来場者を迎え、開催しました。



お客様アンケートでは、各部署がそれぞれ発表に趣向を凝らしており、「楽しく、わかりやすい発表・展示で勉強になった」とのコメントや、「ぜひ、定期的な開催をリクエストする」、「次回の開催にも期待したい」など要望の声も多数いただきました。



各部署が、発表・展示形式で各商品を紹介しました。また、LEDビジョンやデジタルサイネージを使用し、動画や音を用いたコンテンツで伝えることに挑戦しました。



環境対策製品への切り替え

当社製品（アップルスター®シリーズ）について、欧州の製品含有化学物質規制（RoHS※①、REACH※②）に適合した製品への切り替えを始めており、2020年度末までにすべての当社加工品について、切り替えることを目標に取り組んでおります。

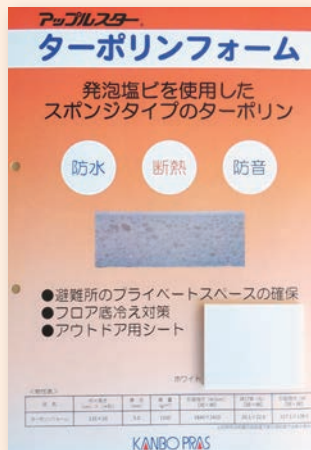
※①…電気・電子機器（EEE）についての有害化学物質規制

※②…製造・使用される化学物質について Registration（登録）、Evaluation（評価）、Authorization（認可）、Restriction（制限）の義務



当社商品のご紹介

① ターポリンフォーム



発泡塩ビを使用したスポンジタイプのターポリン

＜規格＞5mm 厚 × 125cm 幅 × 20m 乱

＜機能＞防水・断熱・防音

＜用途＞

- ・避難所のプライベートスペースの確保
- ・フロア底冷え対策
- ・アウトドア用シート など

② 両面チッパカ



オレフィン素材に強力粘着する両面テープ

＜規格＞0.42mm 厚 × 2.5、5.0、10cm 幅 × 20m

＜用途＞

- ・ブルーシート、土のうなどの補修や加工

③ 不燃ターポリン

薄くて軽い半透明のオリジナル不燃ターポリン

＜規格＞0.23mm 厚 × 204cm 幅 × 30m 乱

＜機能＞不燃（不燃認定番号：NM-5013）

防災（防災物品試験番号：C2190023）

（防災製品認定番号：F-31357）

抗菌

＜用途＞

- ・間仕切り
- ・垂れ幕
- ・膜天井 など



気候変動・災害対策 Biz2019

開催日：2019年12月4日～6日

場 所：東京ビッグサイト

主 催：日本経済新聞社、日経 BP

防災・減災に役立つ製品・ソリューションや環境・再生エネルギー技術が一堂に集結した展示会に出展しました。

テレビやラジオの取材を受け、ご来場の方々からも高い評価を数多くいただきました。

- ・テレビ東京 / ゆうがたサテライト
- ・文化放送 / 斎藤一美ニュースワイド SAKIDORI !



特にパネテクター（パネル型止水シート）やターポリン救護担架についての問い合わせを数多くいただき、防災・減災に対する関心の高さをあらためて実感しました。



パネテクター

建物の入口に置くだけの簡単な作業で素早く設置可能なパネル型の止水シート

基本サイズ：間口（3m タイプ、5m タイプ）※ × 高さ 50cm
（収納時：縦 45cm × 横 60cm × 高さ 26cm・38cm）

重 量：（10kg・14kg）

※間口（3m タイプ、5m タイプ）以外の特注品も製作可能です

特に都市部では土のうに詰める土の確保が難しいことからパネテクターへの注目が高まりました。

ターポリン救護担架

緊急時の傷病者の運搬に、軽量でコンパクト収納可能な担架

サイズ：60cm × 200cm （収納時：33cm × 40cm × 9cm）

重 量：約 1.8kg（収納袋込：約 2.0kg）

ふるさと納税（福井県鯖江市、大阪府忠岡町）の返礼品にも採用されています。



収納時

使用時



品質方針

福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。

福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。

福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。

福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

改定 2013年12月1日

苦情発生状況

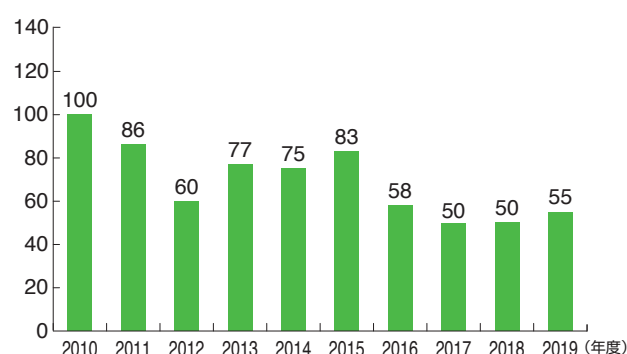
2018年度まで減少傾向で推移していた苦情件数ですが、2019年度は前年比10%増の結果となりました。

お客様に指摘された不具合の真因を捉え、確実に抜本対策を実施していきます。

また製品の不安定な品質項目を早期に発見し改善することで、苦情件数が増加傾向に転じることのないよう歯止めをかけていきます。

苦情発生件数推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



不良品発生状況

2019年度の不良品発生件数は、ほぼ横ばいの状況を改善できませんでした。

思い込み作業による不良品発生が多くありました。

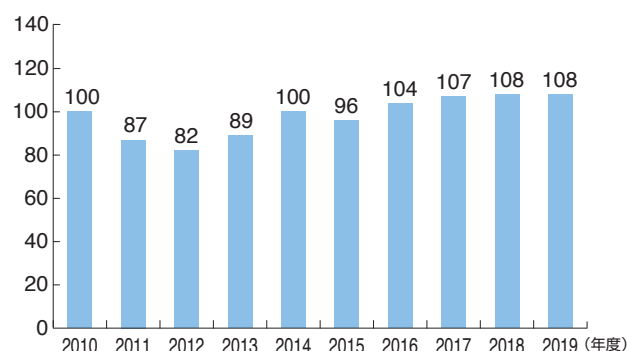
製造担当者の世代交代が進み、作業の注意点が十分に指導できていないことが要因のひとつとして挙げられました。

また、ここ数年で生産状況が変わり、多量生産品が少なくなったことにより、切り替え作業が多くなり、作業注意点が増えていることも要因のひとつです。

ミスのない製造環境を実現すべく、日々の改善活動、指導教育による不良品発生の抑制に努めてまいります。

不良品発生件数推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



小集団活動

福井工場では、現場力向上のために小集団活動に取り組んでいます。

班長を中心にチームに分かれて、品質や生産性の向上をテーマに作業標準書の見直しをしたり、労災ゼロを目指してKY活動やリスクアセスメントの作成にも積極的に取り組んでいます。

